

ETCレーン通過速度抑制強化対策（試行運用）1ヶ月後速報

～北陸自動車道 新潟西第一料金所～

1. 対策の目的：

ETCレーン内での事故を防止し、お客さまに安全にご利用いただくため、時速20km以下に減速して進入し徐行して通行していただくよう、各種広報媒体等を通じてお願いしているところですが、速度を大きく超過しているお客さまが数多く見受けられ、重大事故の発生が懸念される場所です。

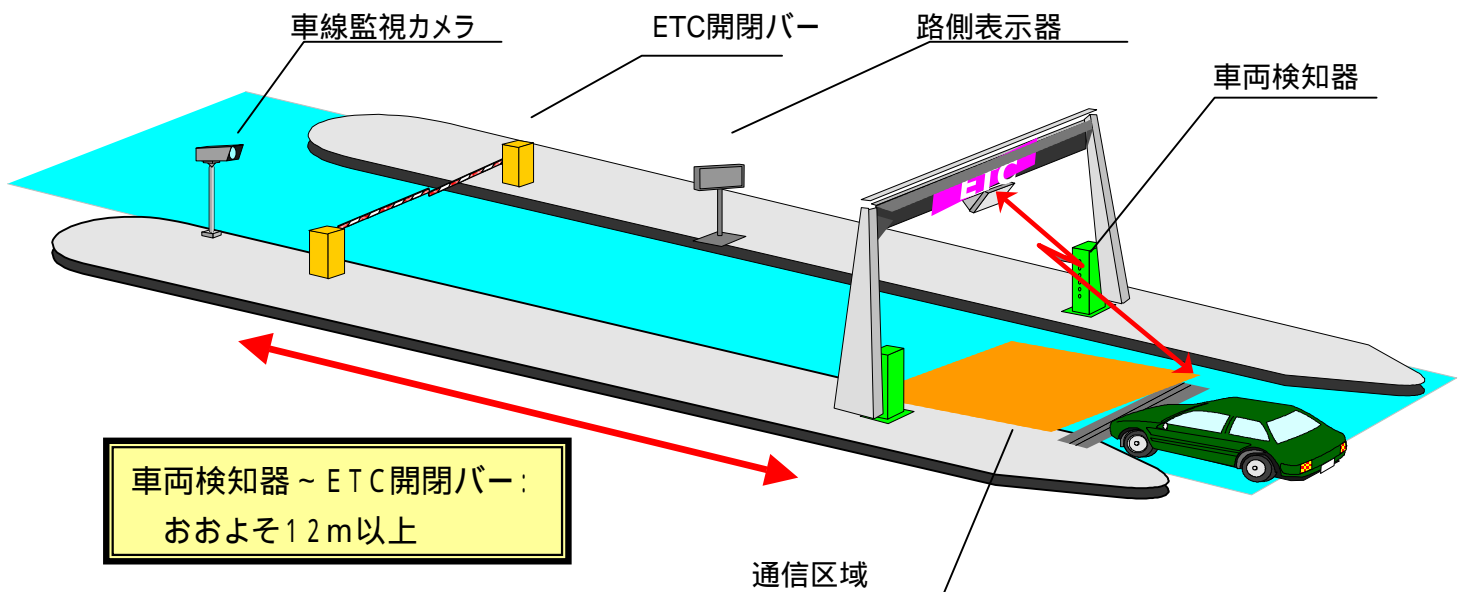
そこで、安全確保の対策として、北陸自動車道の新潟西第一料金所において、ETC開閉バーの作動を遅くすることによる速度抑制強化対策の試行を実施したものです。

2. 弊社管内の試行箇所：

道路名	料金所名	試行運用開始
北陸自動車道	新潟西第一	平成20年9月25日（木）午前11時から
札幌自動車道	新川	平成20年10月27日（月）午前11時から
仙台東部道路	岩沼	平成20年10月27日（月）午前6時から
東北自動車道	鹿沼	平成20年11月25日（火）午後3時から
長野自動車道	麻績	平成20年11月25日（火）午後3時から
長野自動車道	更埴	平成20年11月25日（火）午後3時から
東京湾アクアライン	木更津金田第一（木更津本線）	平成20年11月25日（火）午後3時から

3. システム概要：

ETC開閉バーの開信号を送信する車両検知器の反応時間を約0.5～1秒遅らせレーン内最大通過可能速度を低減。



4. 北陸自動車道 新潟西第一料金所の試行結果：

試行開始前後でE T Cレーンへの高速進入車両の割合及びE T C開閉バーへの接触発生率を約4割削減。

試行開始前は平成20年9月1日～24日、試行開始後は10月1日～31日のデータ。

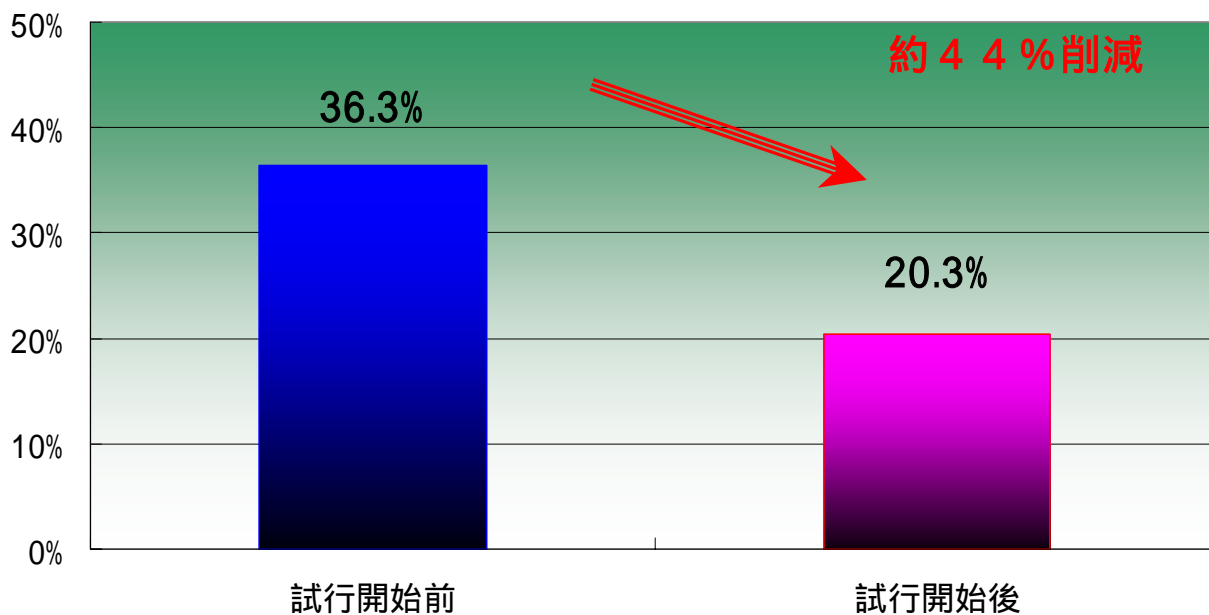
対象レーン：全E T Cレーン（入口2レーン・出口2レーン）計4レーン

)高速車両(時速40km以上)の割合の推移

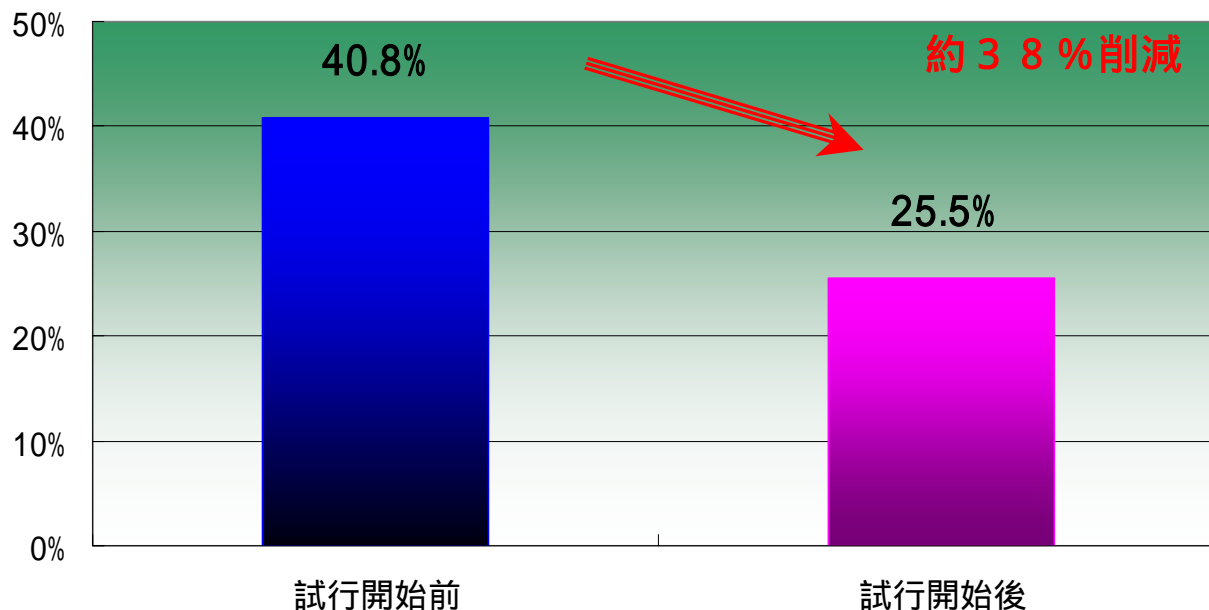
【入口】36.3% 20.3%となり、**約44%削減。**

【出口】40.8% 25.5%となり、**約38%削減。**

新潟西第一料金所(入口)通過時速40km以上の割合の推移



新潟西第一料金所(出口)通過時速40km以上の割合の推移



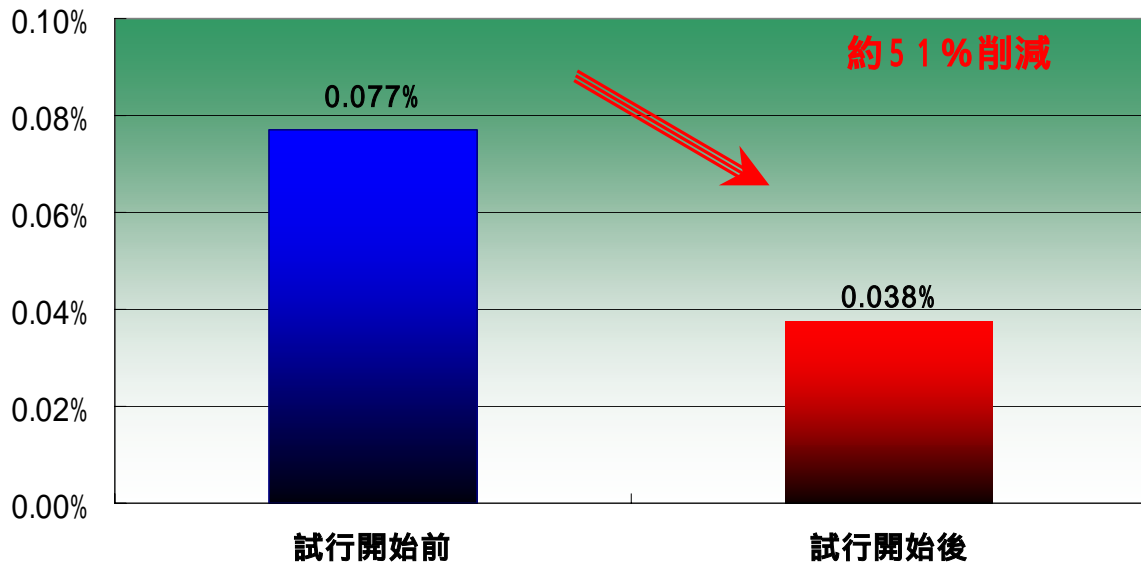
) ETC開閉バーへの接触発生率の推移

【入口】0.077% 0.038%となり、**約51%削減**。

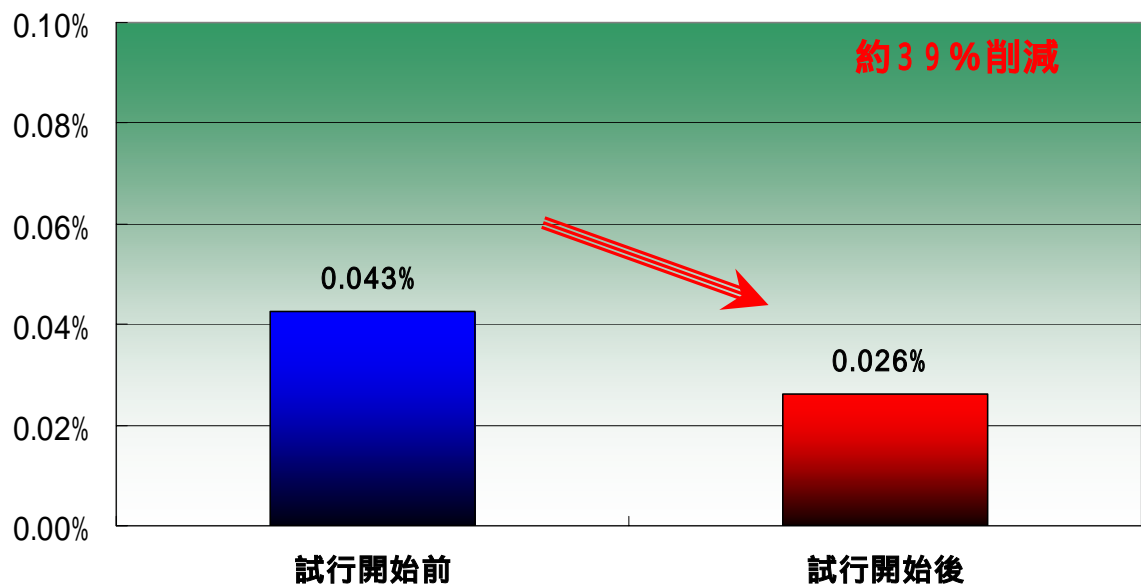
【出口】0.043% 0.026%となり、**約39%削減**。

(ETC開閉バーへの接触発生率 = ETC開閉バーへの接触件数 ÷ ETC利用台数)

新潟西第一料金所(入口)ETC開閉バーへの接触発生率の推移



新潟西第一料金所(出口)ETC開閉バーへの接触発生率の推移



5.まとめ

当社の試行結果を踏まえて、全料金所への展開等の方策を検討してまいります。

以上